

# 【2018年度企業見学バスツアー Aルート 報告】

訪問企業：株式会社研創、株式会社日本製鋼所広島製作所

<実施日：2019年2月15日(金)>

## 【はじめに】

2019年2月15日(金)に、株式会社研創及び株式会社日本製鋼所広島製作所を巡るバスツアーを実施しました。この企業見学バスツアーは、キャリア教育の一環として、地元企業の魅力発見や、企業・職業研究を始めとする将来の職業選択について具体的に考えることを目的に、2016年度より年2回行っています。大学1・2年生を主に対象としたプログラムで、今回の参加者は4年生1名、3年生1名、2年生11名、1年生1名の計14名でした。各企業では、主に会社の概要説明や工場見学、質疑応答の時間のほか、卒業生との交流の時間などもいただきました。

業務多忙の折、ご対応いただきました皆様には、厚く御礼申し上げます。

以下に、各企業の見学の様子をご紹介します。

## 【株式会社研創】

朝8:30に大学を出発し、9:20に株式会社研創(以下、「研創」という。)に到着しました。バスが到着すると担当の方々に温かく迎えていただき、学生たちが緊張しながらも、元気に挨拶する姿が印象的でした。

会議室にご案内いただき、本学のご卒業生でもある執行役員総務部長浦上忠久様より、研創が金属製サインの分野でシェアナンバーワンになった成長プロセスについてお話いただきました。創業の歴史から、転機となった当時の売上の30%に当たる高額なレーザー加工機を導入されたこと、コンピュータによる生産体制を導入されたことなど企業の戦略を伺いました。また、リーマンショック後の苦しい時代をどのような努力で乗り越えたのか、現在売上が57億を超えるまでに至った企業の努力についても伺いました。シェアナンバーワンだからこそその「業界のスタンダードは研創が作っている」というお言葉は大変印象的でした。

次に、複数の班に分かれて工場を見学させていただきました。完全受注生産の為、どれ一つとして同じものがないこと、どのように工期が管理されているかなどを伺いながら見学しました。整頓された工場の中で集中して製作されていた職人の方の眼差しは、真剣そのものでした。

最後に会議室に戻り、本学卒業生の研創で活躍されている先輩5人にお話しを伺うことができました。それぞれ仕事のやりがいや、仕事を行ううえで大変だと感じている事をお話いただきました。

学生からも「どうしてこの会社を選んだのか」「研創の良いところはどこか」「どんな人材を求めているのか」等たくさん



の質問をさせていただき、丁寧にご回答いただきました。

学生も「広島修道大学の先輩」ということで、気負わずたくさん質問を行うことができたようです。

出発時にはお見送りいただき、会社の方々の温かい人柄を感じながら会社を後にしました。



### 【株式会社日本製鋼所広島製作所】



バスでの移動を経て、13:00頃株式会社日本製鋼所広島製作所（以下、「日本製鋼所」という。）を訪問させていただきました。

会議室にご案内いただき、会社概要や製造している製品についてのビデオを視聴しました。その後工場見学に対する諸注意を受け、工場の見学をさせていただきました。



工場内は総務部労務グループの中西英樹様にご案内いただきました。また、中西様以外にも本学の卒業生2名の先輩が質問等にご対応いただきながらご同行くださいました。工場ではまず、広さや機材・部品・製品の大きさに圧倒されました。製品の1部品だけで自分たちの背丈や身幅より随分大きいものがたくさんありました。また、安全管理のために人が入る扉とフォークリフト等が入る入口が分けられていたり、通路と作業スペースは床に色線を描くことで明確に分けられていたり、人よりフォークリフトが通行優先であったりと、人命を守るための細かなルールを定められていることに感銘を受けました。見学をする中で世界のプラスチック製品の約8割は、原料や加工等の段階で日本製鋼所が関わっているということを知り、シェアの大きさに驚きました。



その後会議室に戻り、卒業生の方に質問をする時間をいただきました。日本製鋼所を選んだきっかけや、企業のどの部分が自分に合うと思ったのか、現在の働く目的ややりがいを感じる瞬間、働くうえで大変だと思う場面などを伺いました。また、採用担当のご経験のある総務部労務グループマネージャーの川本英幸様より、入社後に伸びる人材は、「積極的に（見える・見えないに関わらず）努力している人」であることや、採用面接時から「面接相手の向いている部署や採用後の数十年間」を考えていること、採用するきっかけは「また会いたいと思えるか」「どうしても入りたいと思っているか」であること等、貴重なお話しを伺うことができました。

先輩の話はもちろんのこと、企業側が求める人材について話を聞くことができ、学びの多い時間となりました。



### 【学生の声】

本企画では移動中のバスの時間も学びの時間と考え、各々1～2分間のスピーチを行います。自己紹介や、見学から学んだこと、学んだ事をこれからの学生生活にどう生かしていくのか等、自分の言葉でアウトプットすることで、より深い学び・記憶の定着を目指しています。

学生たちは、2社の見学後、自分の感じたことを自分自身の言葉で発表できており、たった1日の時間ではありますが、大きく成長した姿を見ることができました。

以下に学生の声を抜粋いたします。

「製造業の仕事は自分に縁が無いと思っていたが、会社の中にも色々な仕事があり、文系でも十分活躍できることを知れて視野が広がった。」

「インターネットの検索では知れないことをたくさん知ることができた。」

「B to Bの企業はなかなか見る機会がないので、今回見ることができてとても良かった。」

「雰囲気が良いことが感じられて良かった。」

学生は業務内容が理解できたとともに、社員の方の熱意、また自信と誇りを持ち業務に取り組む姿勢を感じ取ることができたようです。百聞は一見に如かず。実際の現場を見学させていただくことで、視野が広がり、また先輩のお話を聞かせていただくことで、将来に向け今の自分に足りない部分にも気が付くことができた様子でした。

### 【おわりに】

訪問させていただいた各社において、皆様から本当に温かくお迎えいただきました。ご多忙にもかかわらず、多くの社員の方々にお話しいただき、また事前の準備も含めて貴重な時間をご提供いただいたことに心より御礼申し上げます。

学生は、短い時間ではありましたが、実際に働く社会人の皆様方の熱い思いのこもった言葉を頂戴できたこと、そして実際に働かれている姿を見学できて感じたことを、今後の学生生活に繋げていく姿勢で取り組ませていただきました。

また、キャリアセンター教職員にとっても、それぞれの企業をより深く理解することができ非常に貴重な経験の場となりました。本企画にご協力、ご理解いただいたすべての方々に対し、重ねて厚く御礼申し上げます。